避難勧告等の伝達

市役所からの呼びかけと、とるべき行動の緊急度

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
警戒レベル 5	災害発生情報※1 ※1 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 〔木津川市が発令〕	既に**災害が発生**している状況です。 **命を守るための最善の行動**をとりましょう。
警戒レベル 4 全員避難	避難勧告　※2 避難指示（緊急） ※2 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 〔木津川市が発令〕	**速やかに避難**しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル 3 高齢者等は避難	避難準備・ 高齢者等避難開始 〔木津川市が発令〕	**避難に時間を要する人（ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等 ）**とその支援者は避難をしましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル 2	洪水注意報 大雨注意報等 〔気象庁が発表〕	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの**避難行動を確認**しましょう。
警戒レベル 1	早期注意情報 〔気象庁が発表〕	災害への心構えを高めましょう。

【警戒レベル相当情報（例）】

警戒レベル5相当情報
氾濫発生情報
大雨特別警報　等

警戒レベル4相当情報
氾濫危険情報
土砂災害警戒情報 等

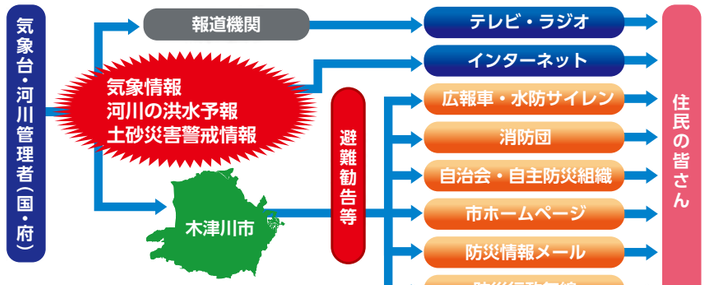
警戒レベル3相当情報
氾濫警戒情報
洪水警報　等

（国土交通省、気象庁、京都府が発表）

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

警報等が発令されても、警戒レベル・避難勧告等の避難情報が発表されるとは限りません。警戒レベル・避難勧告等の避難情報は、気象状況や市内の被害状況等を総合的に判断して市が発令します。

情報伝達の経路



災害発生時には、
自主的な情報収集を心がけましょう。

避難時の心得・要配慮者への協力

災害時の避難の心得

正確な情報の入手

テレビ・ラジオで最新の気象情報などに注意しましょう。
雨の降り方などに注意し、危険を感じたら自主的に避難しましょう。

徒歩での避難が基本

車での移動は緊急車両の通行の妨げになります。
また、浸水すると車が動かなくなるので、特別な場合を除き、徒歩で避難しましょう。

避難する前の確認

避難する前に、電気・ガスなどの火を消し、避難所の位置を確認しましょう。
また、親戚や知人などに避難することを連絡しておきましょう。

要配慮者への協力

お年寄りや子どもなどは早めの避難が必要です。近所のお年寄りが避難する場合には、協力しましょう。

安全な避難路を選ぶ

避難はできるだけ高い道路を選び、水路などには十分注意しましょう。
また土砂災害警戒区域を避けるようにしましょう。

万が一、逃げ遅れたときは

万が一避難が遅れ、危険が迫ったときは、丈夫な建物の２階以上に逃げましょう。

非常持出品の事前準備を

避難するときの荷物は必要最小限とし、事前に準備しておきましょう。

ペットの同行を

飼い主が責任をもって管理しましょう。避難所では他の避難者への影響をふまえ、制限されるので気をつけましょう。

要配慮者への協力

高齢者、乳幼児、病人

できる限り複数の人で対応しましょう。必要に応じて、ひも等の道具を用いて背負い、安全な場所へ避難しましょう。

目の不自由な方

誘導するときは、杖を持たず、ひじのあたりに軽く触れるか、腕をかして半歩前をゆっくり歩きましょう。

耳の不自由な方

話しかける場合は、口を大きく動かし、相手にはっきりわかりやすく伝えましょう。

体の不自由な方

階段での介助には２人以上が必要となるため、周りの人に協力を求めましょう。